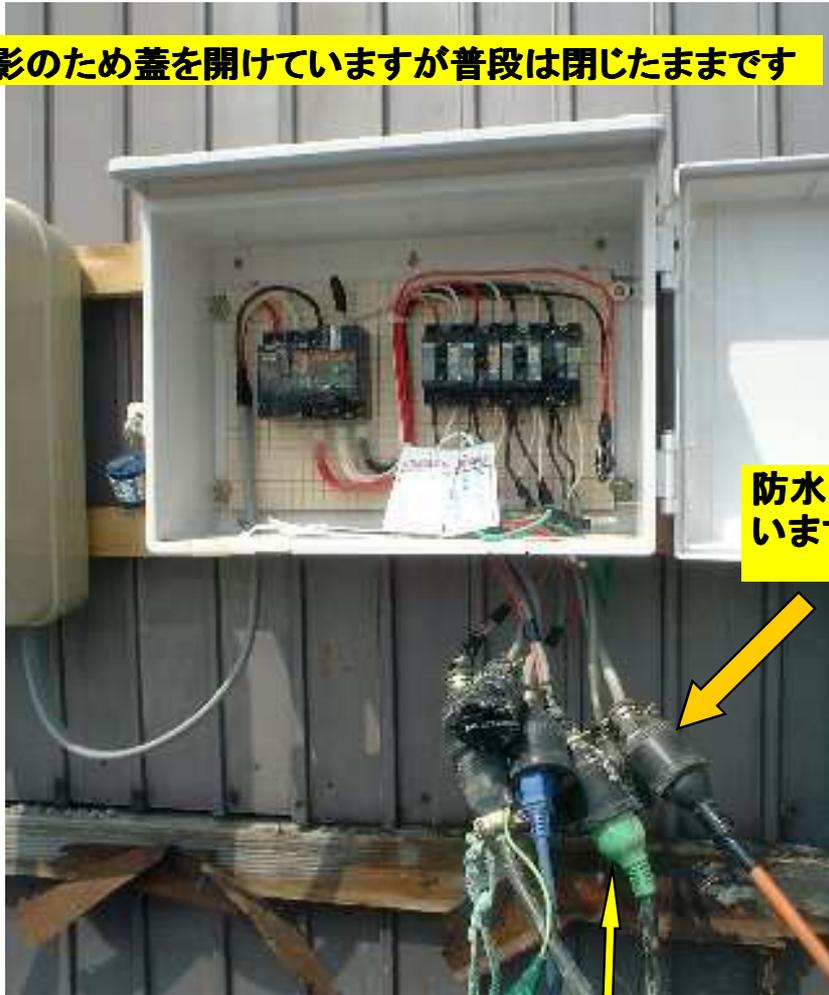


分電盤 外部端子で蓋の開けっ放し無し

撮影のため蓋を開けていますが普段は閉じたままです



分電盤の蓋は常に閉めておく必要があります
雨により漏電することを防ぐためです

防水型端子を使用しています

問題点

分電盤のコンセント(端子)は、通常分電盤の中にありますが、現在主流のアース端子付き防水型プラグ(この緑色のようなタイプ↑)では、プラグが大きいため蓋が閉まらず開けっ放しになっている状況をよく見ます。

分電盤に水気は禁物、感電災害防止のためにも開けっ放しは事故のもとです。

改善点

分電盤の端子を外部に設け、盤の中には漏電ブレーカーだけを設けるように改善をはかりました、このようにすることでプラグのサイズに関わらず蓋は閉まりますしまた、しょっちゅう蓋を開け閉めする必要もなくなります、当然雨による漏電の心配も防げます。

但し、外部端子には防水型を採用することと、毎日確実に漏電ブレーカーの試運転ならびに端子ごとの行先表示を設けることが条件になります。

電気は目に見えないからこそ細心の注意をもって扱わなければならないことを再確認してください。